

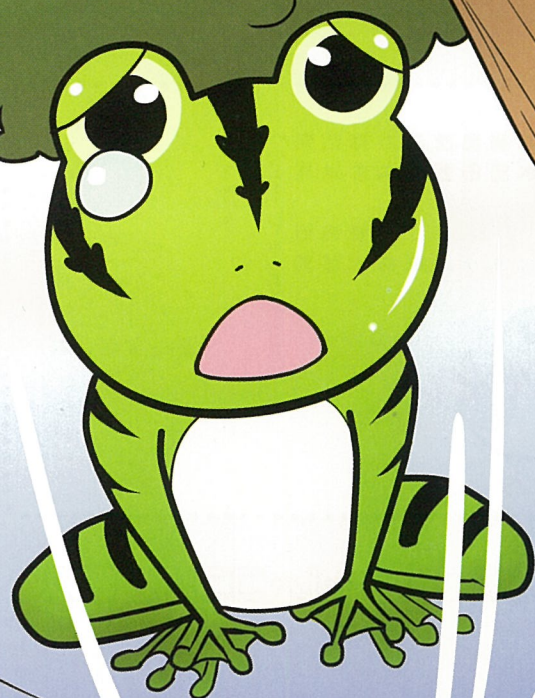
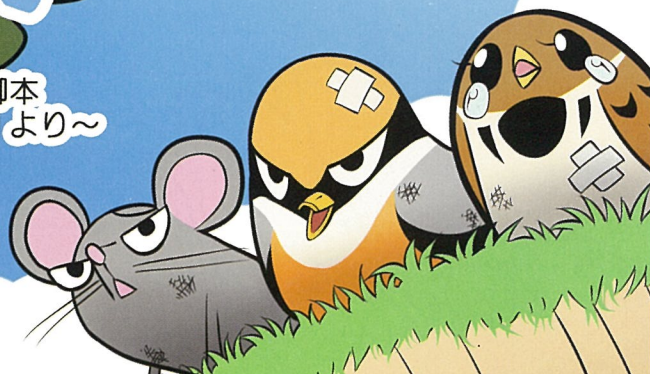
コラーレ開館15周年記念
コラーレ・ドラマキッズ第13回公演



ブンナ

～水上勉 原作 小松幹生 脚本
「ブンナよ木からおりてこい」より～

潤色・演出: ねがひ 叶



全席自由

1,000円(当日1,200円)

この公演は黒部市の助成により
低料金でお楽しみいただけます。

2011年 3月27日(日) 開場13:30
開演14:00



黒部市国際文化センター コラーレ (カーターホール)

富山県黒部市三日市20番地

TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 www.colare.jp/

開館時間: 9:00～22:30(土曜～23:00) / 毎週水曜休館



【プレイガイド】

コラーレ／黒部メルシー／魚津サンプラザ／入善コスモホール

アーツナビ(新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール)

■主催: 財団法人黒部市国際文化センター ■共催: 北日本新聞社 ■後援: 黒部市 黒部市教育委員会



芸術文化振興基金助成事業

ブンナ

～水上勉 原作 小松幹生 脚本
「ブンナよ木からおりてこい」より～



ブンナはトノサマガエルの子ども。
どこかの町のお寺の境内にある小さな沼に棲んでいます。
その沼のほとりには背の高い椎の木が1本生えていました。
ある日、ブンナはその椎の木のてっぺんを目指し、登りはじめました。
ブンナにはお父さんもお母さんいません。
「きっとお父さんもお母さんももう今は死んでしまって天国にいるんだ」
ブンナは天国に1番近い場所だと思い、
背の高い椎の木に登って見たかったのです。
木登りがあまり上手ではないカエルのブンナは、
必至になって一生懸命登りました。
木のてっぺんには鳥の巣がありました。
そこは世にも恐ろしいトンビの巣でした。
トンビはいつも空の高いところから、
カエルや蛇やトカゲやねずみやすずめなどを狙っています。
巢に上がってみると、そこには柔らかな土まであって、土に潜るのは得意なブンナは
その土のフカフカなベットで一夜をおくることにしました。
さて、ブンナがその木の上で見たものは……。

潤色・演出：ねがひ叶
演技指導：木津 智子
音楽監修：西村 孝徳
宣伝美術：奥村 妙華
舞台スタッフ：コラーレ・スタッフ
ドラマツバ(保護者会)
制作：黒部市国際文化センター

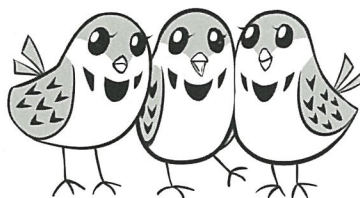
スタッフ

演奏：コラーレ・キーボードオーケストラ
合唱：コラーレ・ココロ合唱隊
(ドラマキッズOG)

近藤 美穂 山本 花子 柳川 知由 南谷 留陽 長谷 優真 二野 真千 中居 千乃 鳥居 野々 土肥 真千 土肥 真千 白崎 七剣 白崎 七剣 白崎 七剣 志木 貴晶 島田 青太 茂田 美羽 茂田 美羽 木野 一 荒本 千遊 荒本 千遊 尾好 那美

キャスト

〈コラーレ・ドラマキッズ〉



コラーレ・ドラマキッズ コラーレ・キーボードオーケストラ コラーレ・ココロ合唱隊



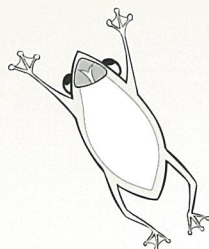
コラーレの専属演劇集団として、1998年に小中学生で結成。演劇活動を通して感性や表現力を豊かにすることを目的とし、協力して舞台をつくることの素晴らしさを体験している。



コラーレの専属楽団として、1995年に小中学生による全国初のシンセサイザーオーケストラを結成。毎年の定期コンサートの他、市内のイベントでの演奏や海外公演も経験。



コラーレの専属合唱隊として、1996年に小中学生で結成。無理のない自然な発声法による練習を基本にしながら、童謡からクラシック、アニメソングと幅広いレパートリーを持つ。



コラーレ 黒部市国際文化センター コラーレ

富山県黒部市三日市20番地
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 www.colare.jp/
開館時間：9:00～22:30(土曜～23:00)／毎週水曜休館